〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

対面リーディング通信

2015年 6月

２０１５年６月1日 発行　　第１６４号（隔月刊）

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

2014年度の統計がまとまりました

○件数について

２０１４年度の分類別利用合計は1,410件で前年度より55件増加しました。ただ、延利用件数は84件減の999件と2年連続の減少となってしまいました。

分類別利用合計が増加しているのは1回2時間の間に複数の内容を依頼されるケースが増えたためと考えられます。

○利用者数

実利用者は48人で昨年度より３人減少となりました。延利用件数は減少しましたが、実利用者数は、ほぼ横ばいの状況です。

○利用状況

前年度から大きな変化が出た分類は、資格試験問題が68％増、新聞が37％増、社会科学が60％減でした。

9年前の2005年度と比較すると分類別利用合計が517件増え、58％増になりました。

個別に見ると資格試験が1％から17％、文学が9％から27％に。反対にチラシ類は15％から5％と減少しています。医学関係（東洋医学、西洋医学）は4％（36件）から0％（7件）に、新聞は216件から246件と件数では伸びていますが、24％〜17％と割合では減少しています。

「分類」については、どこに分類されるのか分かりにくい図書、資料も多いかと思います。分類番号の記入で迷われたときは職員にご相談ください。

○ボランティア数

131名（登録ボランティア数160名）のボランティアの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

14年度は12名の方にご新規登録いただきました。しかし、利用者の希望が多様になったこともあり、予約作業に手間取っています。今年度もさらなるご協力をお願いいたします。

今月号の主な内容

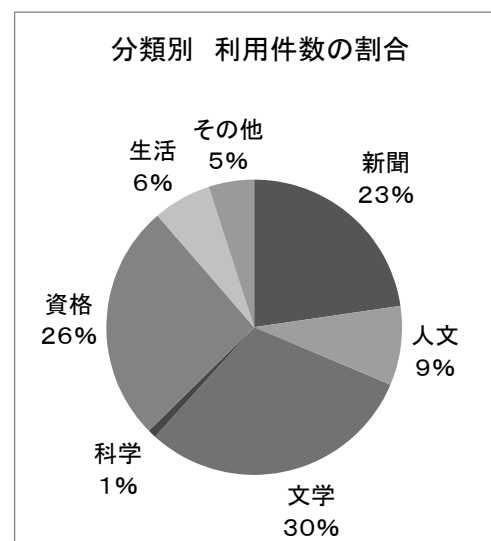
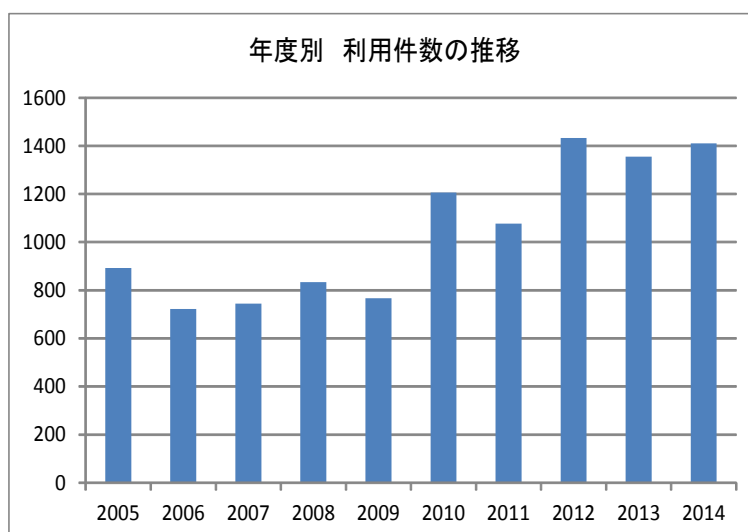
2014年度 対面リーディング利用状況報告

		分　　類	2014	2013
新聞・雑誌	１	新聞	２４６	１８０
	２	総合雑誌	４６	６８
	１２	鉄道雑誌・時刻表等	２	１１
	１３	スポーツ・スポーツ誌（競馬・相撲雑誌等）	２６	４３
人文・地歴・哲学・社会	４	哲学･心理学・宗教	３０	２９
	５	伝記・歴史・地理（旅行ガイド等を含む）	５１	８４
	６	社会科学（社会福祉・政治・経済・株式）	４１	１０１
文学・芸術	１４	芸術一般・芸能・音楽（楽譜等）	４９	２９
	１６	文学・エッセイ	３７９	３３７
	１７	短歌・俳句・川柳・詩	０	６
科学・医学・技術	７	東洋医学	１	２
	８	西洋医学	６	２
	９	数学・科学・物理・生物ほか	３	１４
	１１	工学（コンピュータ・無線等）	３	１
資格・検定・語学	３	資格試験問題	２４４	１４５
	１５	語学（英会話・TOEIC 等）・外国語	１２３	１２０
生活一般	１０	家事・育児・料理	５	９
	１８	各種取扱説明書（携帯電話等）	１６	８
	１９	チラシ・手紙・ＤＭ・パンフレット等	６９	８３
その他	２０	代筆	５７	７４
	２１	コンピュータ補助（データ修正等）	１１	９
	２２	その他	２	０
		合　　計	１４１０	１３５５
		延利用者数	９９９	１０８３

年度別利用ベスト５

2014年度	2013年度	2012年度
① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ 資格試験問題 ④ 語学・外国語 ⑤ チラシ・手紙など	① 文学・エッセイ ② 新聞 ③ 資格試験問題 ④ 語学・外国語 ⑤ 社会科学	① 資格試験問題 ② 文学・エッセイ ③ 語学・外国語 ④ 新聞 ⑤ チラシ・手紙など

2011年度	2010年度	2009年度
① 社会科学 ② 語学 ③ 資格試験問題 ④ 文学・エッセイ ⑤ 総合雑誌	① 資格試験問題 ② 文学・エッセイ ③ チラシ・手紙・DM ④ 社会科学 ⑤ 総合雑誌	① 文学・エッセイ ② チラシ・手紙・DM ③ 総合雑誌 ④ 新聞 ⑤ 資格試験問題

2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	分類
１４３	６７	４８	６２	１６８	２１３	１９５	２１６	１
９６	８５	７１	８１	１２０	１０１	１０２	１０５	２
３	１	５	３	１	３	４	４	１２
３３	１３	２	１	１２	１６	１９	１８	１３
３０	１９	２０	２２	１３	３１	１９	３５	４
５９	３０	５７	２７	９	１２	１２	１９	５
９２	１９３	９３	４２	１３	３７	２２	５０	６
５６	３９	１５	８	１２	４	２７	４１	１４
２６４	１２９	２１４	２０７	１３０	８９	９１	８４	１６
２１	１７	１３	１６	３０	２３	１８	２２	１７
０	５	４	３８	１１	８	２４	１０	７
５	３	６	１９	２３	３	１１	２６	８
１３	４	２	６	１	１	３	５	９
１	４	１２	０	４	３	３	１	１１
２９７	１６４	２２２	４０	６６	３	０	７	３
１４５	１６７	９９	５３	４１	５１	３０	７３	１５
３	２	６	２	２	２	１	２	１０
９	９	１９	６	７	６	６	１０	１８
９８	８２	１３０	１１６	１１８	１１５	１１３	１３６	１９
４３	３６	３７	１５	４０	１５	１８	２６	２０
１７	３	２	３	１３	８	４	３	２１
５	５	１２９	―	―	―	―	―	
１４３３	１０７７	１２０６	７６７	８３４	７４４	７２２	８９３	
１１４９	１０４３							

［注］資格試験の主な内容は行政書士、福祉住環境コーディネーターなどです。

対面リーディングの難所物語　〈CⅢXⅡ〉 132

８０．漫画の音訳・点訳が脚光を浴びる年！（その３）

二村（ふたむら）　晃（あきら）

　ゴールデンウィークは、グループＮ‐ｂｕｎから『ゴルゴ13』の新作を送って頂くのが恒例になっているのですが、今年はそれに加えて、新しく堺市の視覚聴覚障害者センター漫画チームから２枚のデイジー、耳で読む漫画の２作品を送って頂いたのです。

　その１枚は、荒川弘（ひろむ）作の学園漫画、『銀の匙（さじ）・春の巻（第１話～第８話）』。「週刊少年サンデー」連載（2011年５月～７月）です。

　物語の舞台は、北海道の大蝦夷（おおえぞ）農業高等学校（通称エゾノー）。生徒の殆どが、農家・酪農家の子弟であるという学校に、札幌の進学校から一人の少年が入学して来ます。その少年が、主人公の八軒勇吾（はちけんゆうご）です。彼が大蝦夷の大自然の中で、クラスメイト・寮のルームメイト・先輩や先生たちに囲まれ、農業高校での体験を通して、大きく成長していく姿を描いた物語です。

　音訳作品の基本は、コマ番号は読まず、吹きだしの会話を読んで絵の説明をするというオーソドックスな手法で進められています。ページをめくる際には短い効果音がちゃんと入っていて、一語一句おろそかにしない、しっかりした読み口に感服しました。主人公と同じクラスの登場人物も多いだけに、校正のご苦労もさぞかしだったことでしょう。

　４月に八軒少年が入学したクラスは、酪農科学科です。彼を取り巻くクラスメイトは、家で牛や馬を飼育していて、乗馬も得意な馬術部の御影（みかげ）アキ・実家が鶏農家の常盤（ときわ）恵次・卒業後は実家の酪農を嗣ぐ予定の駒場一郎・太めの身体に鋭い目、常に冷静な稲田多摩子とユニークな連中が揃っていて、中学時代は勉強しかしたことのなかった八軒少年も家畜の糞尿にまみれた学園生活に引き込まれてしまいます。彼にどんな青春が拓けていくのか？この春の巻に続く夏の巻、秋の巻が楽しみです。続篇の音訳作品をお待ちしています。

　もう１枚は、波間信子（はまのぶこ）著『ハッピー！』第１巻　講談社コミックス1995年10月発行。黄色のラブラドール・レトリバーの牝ハッピーが、生まれてからパピーウォーカーに育てられ、盲導犬になるための厳しい訓練を乗り越えて、３年前スキー事故で失明した25歳の女性、香織の人生を変えていく物語です。小さな子犬が愛情溢れるパピーウォーカーや、子供たちとの触れ合いを糧に、盲導犬としての生きざまを受け止めていく過程に加えて、中途失明者となった香織の心の成長を描く感動のストーリーが随所に散りばめられていてほのぼのとした気分にさせられました。多くの視覚障害者に読んで頂きたい作品です。

　吹き出しの音声部分と絵の説明とは、読み手をわけて担当していて、手の込んだ構成になっています。校正も大変だったでしょう。

　両作品とも、続篇の完成が待たれます。故岩井和彦所長の遺志を継いで、若い年代層に向けて、漫画の音訳作品の制作が着々と進められていたのですね。堺市の視覚聴覚障害者センターと、制作に協力なさっている音訳ボランティア・いずみの会の漫画チームの皆さん、これからも楽しい作品を私たちに与えて下さい。お願いします。　　　〈つづく〉

木村（きむら） 謹治（きんじ）

対面リーディングの実際 １０

― 取扱説明書を読む ―

今回は OLYMPUS のボイストレック DS-902（IC　レコーダー）の取扱説明書を利用して実際の読み方の勉強をしてみたいと思います。この機種は視覚障害者の方でも使えるようテキストデータの音声読み上げや、デイジー図書への対応などが可能です。

下準備として、パソコンをお持ちで、ネットに繋がる環境をお持ちの方は下記の URL で取扱説明書をダウンロードするか閲覧して下さい。

https://support.olympus.co.jp/jp/support/dlc/archive/man_ds902.pdf

この機器は携帯電話程度の大きさなので、利用者が持参することが可能です。

持参可能な機器類はできるだけ持って来ていただくよう、利用者に依頼します。

従って文字を読み上げる以外に、お互いに機器を触りながら説明することが可能です。

皆さんは機器を購入され、さて使おうとする時に取扱説明書はどのように利用されていますか？

購入した機器の種類にもよりますが、僕は読まず、いきなり使い始める傾向があります。使ってみて分からない所があれば、改めて必要部分を読んだり、気まぐれに流し読みして、こんな便利な使い方があったのだと感心したり、全部を読むことは滅多にありません。

さて、利用者の取扱説明書に対する要望もさまざまです。

使ってみて、分からない機能があったり、こんな使い方があるはずだが、操作方法が分からない。せっかく買ったので、すべてを知って便利に使いたいなど要望はさまざまです。

一番最初にすることは、利用者がどのような読みを希望されているかを聞く事です。部分的なのか、前から順に読むのか、その他の方法なのかなどです。

また、ひと目で取扱説明書を理解することは難しいです。全体の概略に目を通したい時は、利用者に了解を得て実施して下さい。

特にこの説明書は１８２ページに渡っているので、パラパラと全体像を見た方がいいかもしれませんね。

この時、気をつけていただきたいことがあります。書かれていることを理解しようと**無口になってしまわないことです。**

『パソコンの USB 端子に接続して充電もできるのか。ＳＤカードも使えるなぁ。音声認識機能もついている。すごい。・・・』と目に付いたことを独り言のように、声に出して下さい。

黙って見ていると利用者は、今、どのような状況なのか判断がつかず、不安になることがあります。

じっくり、見て（読んで）、内容を理解してから対面リーディングを実施したい気持ちは分かりますが、下読みする時間はできるだけ短くして下さい。

下読みして、『各部の名前』のように何度も利用しそうなページには付箋を貼ると便利です。

付箋は用意しています。係に声をかけていただければお渡しします。

各部のなまえ

レコーダー

① 内蔵ステレオマイク（L）
② **マイク**ジャック
③ 内蔵ステレオマイク（R）
④ **シーン / ボイス**ボタン
⑤ 音量（＋）ボタン
⑥ 音量（ー）ボタン
⑦ USB 端子
⑧ **電源 / ホールド**スイッチ
⑨ LED 表示ランプ（LED）
⑩ ディスプレイ
⑪ **F1/F2/F3** ボタン
⑫ ▲ ボタン
⑬ **録音**（●）ボタン
⑭ ▶▶I ボタン
⑮ **メニュー**ボタン
⑯ **消去**ボタン
⑰ ▼ ボタン
⑱ **▶OK** ボタン
⑲ **ホーム**ボタン
⑳ **I◀◀** ボタン
㉑ **停止**（■）ボタン
㉒ 電池カバー
㉓ 電池カバーロック解除レバー
㉔ 内蔵スピーカ
㉕ **イヤホン**ジャック
㉖ **リモート**ジャック
別売のリモコンセット RS30W の受信部を接続します。リモコンで本機の録音／停止の操作ができます。
㉗ カードカバー
㉘ **Wi-Fi ON/OFF** スイッチ
㉙ ストラップ取り付け部

各部のなまえ

ディスプレイ

■［ホーム］画面

❶［ミュージック］モード（☞ P.41）
❷［DAISY］モード（☞ P.41）
❸［スケジュール］モード（☞ P.59）
❹ カーソル
❺［テキストスピーチ］モード（☞ P.41）
❻［レコーダー］モード（☞ P.33）
❼ 現在選ばれているモード

・［**ホーム**］画面で停止中に **F1（時刻）** ボタンを押すと［**現在日時**］を確認できます。現在日時が合っていない場合、「**日付・時刻を合わせる［時計設定］**」（☞ P.114）をご覧ください。

これで、下準備が終わりました。

■ 利用者が希望する部分だけを読む

例えば『いらないファイルを消す方法は載っていますか？』『再生順を変更できますか？』など、特定の機能を読むことを希望される場合があります。

この時に役立つのが目次や索引です。

目次

索引

『いらないファイルを消す方法』は目次では

索引では

「し」の欄に「消去ボタン」が見つかりました。

また、「こ」の欄には

「コンテンツ消去」の文字もあります。

消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

ファイルを消去する

1 消去したいファイルを選ぶ（☞ P.30）

2 ファイル表示画面で停止中に消去ボタンを押す

・操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 ▲または▼ボタンを押して［フォルダ内消去］または［1 件消去］を選ぶ

［フォルダ内消去］：
選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルを全て消去します。

［1 件消去］：
選択したファイルを消去します。

4 ▶OK ボタンを押す

5 ▲ボタンを押して［開始］を選ぶ

6 ▶OK ボタンを押す

・ディスプレイが［消去中！］に変わり、消去を開始します。［消去完了］と表示されたら終了です。

ファイルメニュー［ファイル設定］

コンテンツフォルダを削除する［コンテンツ消去］

スマートフォンのアプリケーション（☞ P.133）を使用して本機に転送されたコンテンツフォルダを削除します。フォルダ内の全ファイルを含めて削除します。

1 停止中にメニューボタンを押す

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して［ファイル設定］タブを選ぶ

3 ▲または▼ボタンを押して［コンテンツ消去］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

5 ▲または▼ボタンを押して消去したいフォルダを選ぶ

・I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［ファイル設定］画面に戻ります。

6 ▶OK ボタンを押す

7 ▲または▼ボタンを押して［開始］を選ぶ

8 ▶OK ボタンを押す

・ディスプレイが［消去中！］に変わり、コンテンツ消去を開始します。［消去完了］と表示されたら終了です。

9 F1（戻る）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

・コンテンツフォルダ内にあるファイルは本機で確認することはできません。

どれが正解かは表示されているページをめくり、実際に確かめる必要があります。

この作業を進める場合も、確認中は声を出しながら作業を進めて下さい。

確認した結果、５５ページが求めているページでした。

また１０３ページの「コンテンツフォルダを削除する［コンテンツ消去］」も関連する事項でした。

目次の中の「ファイルメニュー［ファイル設定］」にもこの項目がありますが、見落とされがちな所にあるために、目次と索引の両方を見るのがベターだと思います。

■ 最初から順に読む

この方法が最もポピュラーな読み方です。

表紙の目次のようなものはインデックスなので読む必要はありません。

２ページ目は目次です。目次は図書の内容を把握するための重要な要素ですが、読む必要はないと言われる方もあります。『目次がありますが、読みましょうか』と尋ねるのも一つの方法です。

目次

目次を見ると大見出しと中見出し、小見出しに別れています。

読む方法は大見出しを先に読み、中見出し、小見出しと順に読み進む方法と書かれた順に読む方法があります。

『大見出しとして、１準備、２録音について、３再生について、・・・、７パソコンの活用について、８資料があります』と先に大見出しを読み、次に『大見出しの１準備の項目の下には９つの中見出しがあります。その下に小見出しが書かれています。では１準備の中見出しを読みます。準備する。この項目には７つの小見出しがあり箱の中身を確認する、電池を入れる・・・音声ガイド設定する

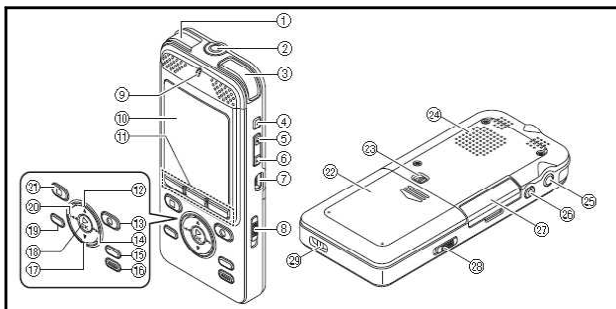
があります。次の中見出しです、電池について。この見出しには小見出しはありません。』と読む方法です。

或いは、『大見出しの１準備の項目の下には９つの中見出しがあります。では中見出しを読みます。準備する、電池について・・』と中見出しのみを先に読み、次に同じ要領で小見出しを読む方法もあります。

中見出しの頭に「ａ・ｂ・ｃ」または「ア・イ・ウ」と符号を付けて分かりやすくするのも許される範囲です。

書かれた順に読む場合でも、単に文字を単純に読むのではなく言葉を加えながら読む方が分かりやすいです。

さらに小見出しは機能をより詳しく書いています。中見出しだけでも内容は通じる可能性があるので、小見出しを見本にいくつか読んでから、利用者に、読む必要があるのかを尋ねるのもいい方法だと思います。（利用者は内容を聞かなければ判断できません）

４ページ目は「各部のなまえ」です。

取扱説明書を読む場合、「各部のなまえ」は何度も出てきます。必要に応じて読み直す必要があります。付箋などを付けていつでも開けられるようにしておくと便利です。

ここで、効果を発揮するのが現物を触っての説明です。この方法は、録音や点訳ではできない技です。

一番に説明するのはここに書かれている番号の機能説明ではなく、どの面が正面で、上はどちらかという事です。

例えば利用者に触っていただき、ディスプレーのツルッとした面や十字キーがある面が表面（おもてめん）、同じように裏面の特徴も説明して、表裏を理解してもらいます。

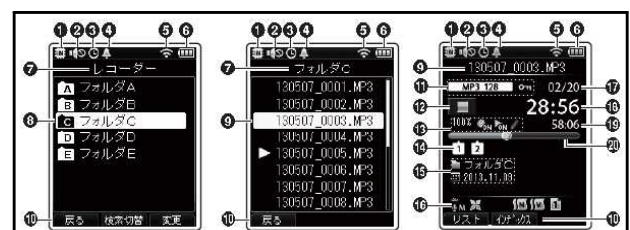
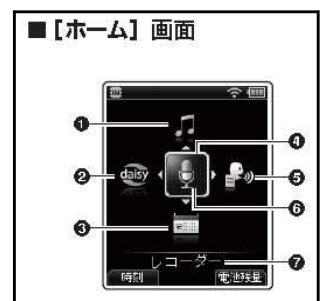
またマイクジャックの穴がある方が上で、十字キーがある方が下というように、その人が識別できる方法で認識してもらって下さい。

たいていの人は説明しなくても分かっているかと思いますが、話しを進める上での重要ポイントなのでおろそかにしないで下さい。

それでは①番から順に触ってもらいながら説明していきます。位置や触り心地、形状などそれぞれ違っています。

操作方法、機能などは次のページ以下に書かれています。各部の名前は何度も繰り返して出てきますので、ここでは、ある程度、見ていただくだけでも大丈夫です。

５～１０ページの「各部のなまえ」はディスプレーの表示なので触って理解できるものではありません。『ディスプレーにはこのような項目があります』と書かれている言葉通り読むしかありませんね。

時間があれば、画面の説明をするのも一つの方法ですが、簡潔にした方がいいですね。

（つづく）

今回は、具体的な OLYMPUS の取扱説明書を取り上げ、読み方の一例を示しています。いつも書いているとおり、これが正解だというものはありません。

ネット上で取扱説明書はダウンロードできますので、皆さまも見ていただき、意見やいい方法が見つかれば教えていただければ幸いです。

私のふるさと

サービス部　杉原（すぎはら）　佳子（よしこ）

私の住む京都は、山に囲まれた盆地であり、冬は寒く底冷えがし、夏は暑いです。
いわゆる「うなぎの寝床」と言われる入口が狭く奥行きが長い町家が多い中で、この様な気候を少しでも快適に過ごせる様に、坪庭を作ったり、暖簾（のれん）で工夫をしたり、見た目だけでも清涼感を感じられる様な工夫を施す家が多いです。

神社仏閣が多く観光都市でもある反面、大学が多いので学生数も多く新しい事も取り入れる自由闊達な学生の街でもあります。私の通っていた大学の新歓コンパでは、歓迎会で鴨川に入って向こう岸まで渡るクラブがありましたが、その川べりには、カップルが等間隔に座り、その橋の上では、着物姿の舞子さんが歩いているというすごい取り合わせの光景が見られました。上ル、下ルの住所で表現されるゴバンの目の細い通りは、自転車が便利で、方向音痴の私でも気軽にでかけられます。

修学旅行で清水寺に来られた方も多いと思いますが、私のおススメは、このお寺の境内の中に、お願い事を書く木があるのですが、これに書いておくと大文字の日に大文字山で燃やして頂けます。何かお願い事がある方は、ぜひこのお寺でお願い事を書かれてから今年の大文字を鑑賞されてはいかがでしょうか？

また、京都人にとってお祭りと言えば祇園祭りです。
お囃子を聞くと夏が来た事を実感します。京都は、着倒れの町とよく言われますが、祇園祭の日に、着慣れない浴衣を着て街を歩く若い女性の帯を年配の女性が直してあげている光景を見かけると、伝統が受け継がれる様で微笑ましく感じます。

学生時代は、祇園祭でお守りを売るアルバイトをしていたのですが、外国人から受けた一番多かった質問は、「この粽（ちまき）は食べられるのか？」でした。祇園祭で配られる粽は厄除けのためのものであり、食べられません。念のため。

最後に私の好きな錦市場。京都の台所と言われています。たくさんのお店があって、歩いているだけで幸せな気持ちになりますが、中でも大好物なのは、麩饅頭と豆乳ドーナツです。この２品の誘惑のせいで、私のダイエットは、いつも中断され「無かった事」に。。。
京都に来られる事があれば、錦市場の中で探してみてください！

寄り道・回り道

レポーター：木村 謹治

紅紅（べにべに）

【所在地】　大阪市西区江戸堀1-11-12　日本興亜肥後橋ビル別館1F
【電話番号】　06-6446-2200
【行き方】　地下鉄四つ橋線 肥後橋駅７番 or ８番出口から徒歩５分
【営業時間】　ランチ＝11:30～14:30（月～金曜）　ディナー＝17:30～23:00
【定休日】　日曜日・祝日

店は一段上がった後、半地下に下りていきます。地下と言えば薄暗く、ジメジメした雰囲気がありますが、ここは明るく、モダンなカフェのようにお洒落でくつろげる感じがします。

時間をずらして行ったのですが、人気が高いようで、待っている人もおられました。行かれる方は早めか、少し遅らして行かれた方がいいかもしれません。

店内には大画面のディスプレーに K-POP の音楽番組がずっと流れています。韓国歌手に興味が有れば、ぜひ見に行って下さい。昼間からミニ・ソウルに酔いしれることができます。

定食も色々あって迷ったのですが、僕が頼んだのはスンドゥブチゲランチ（８８０円）

スンドゥブとは日本語で純豆腐と言うそうで、日本の汲み出し豆腐（おぼろ豆腐）に相当する柔かい豆腐だそうです。

スンドゥブチゲには、豆腐、玉ねぎなどの野菜、あさり、玉子がはいってました。

スープは少し辛く、汗がたらたら出てきます。辛いのが苦手な僕ですが、この辛さは好きになりそうです。

チゲ定食は、チゲ以外に、ご飯、たまご焼き、キムチ、チャプチェ（春雨を炒めた韓国料理）、ナムルが付いていました。どれも丁寧に味付けしてあり、とてもおいしいです。

食べている間に聞こえてくる会話は韓国語が。ひょっとしたら韓国から来られた方かも知れませんね。もちろん私たちには日本語なので心配は不要です。

お茶は、日本茶ではなくコーン茶です。炒ったトウモロコシの実をお茶にしたものです。鉄分・食物繊維を多く含み、とても飲みやすい味なので、女性はもちろんのこと、お子様にも安心して飲ませることができます。韓国では特に人気があり、よく飲まれているそうです。

人と人生

ルイ・ブライユ　アルファベットの点字開発者

［１８０９年1月4日～１８５２年1月6日（４３歳没）］

対面リーディング・ボランティア　望月(もちづき)　明(あきら)

■ルイの父親は、馬具や革靴などを製作する職人で、自宅の一階に工房を持っていた。ルイは3歳の時に、その工房で遊んでいるうちに、父親が使っていた錐(きり)で誤って眼球を突き破ってしまい左眼を失明した。その後、感染症により５歳で全盲となった。

■点字の歴史

＊６点点字以前の視覚障害者用の文字は…

点字が発明される前は、ヒモの結び目で文字を表す‘結び文字’や、アルファベットの形を木片に浮き彫りにした‘凸字’などで読む工夫をしていた。これらの文字は読むのが難しく、読む速度も遅く、しかも視覚障害者自身が書くことは出来なかった。ほとんどの視覚障害者は、文字のない生活を強いられていた。

＊点字の基礎となった暗号用文字を考案したシャルル・バルビエ

ナポレオン時代フランスの砲兵大尉シャルル・バルビエ(1767～1841)が、夜でも触覚だけで読むことができる伝令の秘密保持のための暗号用文字を考案した。これが点字の基礎となったといわれている。その伝達の記号には、薄い板紙にいくつもの点を浮き彫りにしたものを使った。暗闇の中で伝令を受けても解読可能なように、視覚と触覚の両方を意識して考え出された伝達方法であった。

バルビエはこれを軍事目的だけでなく、盲人用文字として活用できないかと考え、改良を加え12点の点字にして、パリの盲学校に持ち込んだ。その盲学校の生徒にルイ・ブライユがいた。

＊６点点字を発明したルイ・ブライユ

現在の点字は、1825年フランスパリ訓盲院の生徒ルイ・ブライユが16歳の時に考案したもの。バルビエの文字を手にしたルイ・ブライユは、それを改良し、読み易い６点式の点字を作った。それまでの点字は点の数が多く、とても分かりにくいものだった。彼の改良した点字は、最初あまり認められなかったが、使い易さなどから、やがて広く用いられるようになった。

ルイ・ブライユは1852年、肺結核のため43歳で没した。彼の生家は、点字博物館として公開されており、世界中の視覚障害者たちが訪れ、盲人たちに光をもたらしてくれたブライユの遺徳を偲んでいる。

点字を表す言葉は、彼の名前から、ブライユ“Braille”と呼ばれる。また、火星横断小惑星一その軌道が火星と交差する小惑星のブライユは、彼に因み命名された。

＊日本点字を考案した石川倉次(いしかわ くらじ)

現在、日本で使用されている日本語の点字は、石川倉次により考案された。彼の考えた点字は、1890(明治23)年11月1日に、東京盲唖学校内の点字選定会で正式に採用された。これを記念して、11月1日は「日本点字制定記念日」となっている。

その後、1901(明治34)年には官報に点字が公表され、1926(大正16)年には点字による投票が認められるなど、点字が社会に普及し始めた。戦後は大学入試や司法試験でも点字による受験が認められ、点字を用いた郵便物の宛名書きが認められるなど、その使用範囲も広がって来ている。

日本語の点字は、「あいうえお」のための点字に、他の点を組み合わせることで「あかさたなはまやらわ」などを表している。この組み合わせはローマ字にちょっと似ていて、点字のわかりやすさにも通じている。

石川倉次　1859年2月28日(安政6年1月26日)～1944 (昭和19)年12月23日。日本点字の父といわれている。1890年ルイ・ブライユが考案した6点式点字で日本語を表記することに成功した（12点式を6点式に変えた)。「点字器」、「点字ライター」も開発。

お断り：以上の内容は、インターネット上の「Wikipedia」「Vector　ソフトライブラリ＆PCショップ」「ishi06.web.fc2.com/tenjirekisi.html」「アンデス点訳工房」等々からの諸情報を抜粋要約したものです。

・時間外も繋がる対面リーディング専用番号（ 06-6136-7704 ）ができました

これまでの情文サービスフロアの番号に加えて、新たに対面専用の番号を設けました。日によって時間はまちまちですが、職員の在席中は10時前・17時以降もご連絡いただけます（サービスフロアの番号はこれまで通り10時～17時です)。
今後は新しい番号からも依頼の連絡をさせていただきますので、必要に応じて番号の登録をお願いいたします。
新しい番号は　06-6136-7704　です。

・一時的な対面リーディングの利用回数制限について

日々、皆様のご協力により対面リーディングを行っておりますが、様々なご事情による活動の休止や退会が重なったこと、特定の曜日に対面のご依頼が集中するケースが増えたことなどから予約作業が難しくなっています。そのため、一時的に対面の利用回数に週５コマまでの上限を設けさせていただきました。ご理解いただきますようお願いいたします。今後の状況により変更がありましたら、本通信にてお伝えします。

・月２回以上の依頼にご協力をお願いします

上記の理由により皆様には今までよりも短い間隔で依頼の連絡をさせていただくことがあります。あくまでもご無理のない範囲で、ご活動いただければ幸いです。
また、活動可能な曜日などの変更がありましたら担当までお知らせください。

立夏を過ぎ暦の上ではもう夏。梅雨の前から夏のような暑さが続いていますね。体が暑さに慣れていない時期です。体調を崩されませんよう、ご自愛ください。（F）

日本ライトハウス 情報文化センター
550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2
06-6136-7704（対面専用）
06-6441-0039（サービス部）